

学校教育目標	「よりよい自分 よりよい仲間」 (知)自分の思いをもち、自分の力で積極的に学び続ける子を育てます。 (徳)規範意識をもち、自分も相手も大切にし、自信と思いやりのあふれる子を育てます。 (体)生命を尊ぶ気持ちをもち、自らの健やかな体をつくる子を育てます。 (公)学校や地域に親しみ、まちの一員として積極的にかかわる子を育てます。 (開)様々な人とのコミュニケーションを通じて、広い視野をもち、世界とつながろうとする子を育てます。					
	学校概要	創立 31 周年	学校長 副島江理子	副校長 加藤 純	2 学期制	一般学級: 14 個別支援学級: 4
児童生徒数: 388 人		主な関係校: 緑園西小学校 岡津小学校 岡津中学校 名瀬中学校 上矢部小学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
主体的に自分の思いを表現していく力 自分づくりに関する力 (岡津中ブロック) 「健全な自尊感情の向上」 ・自己教育力 ・人間関係力	岡津中ブロック 岡津中学校 岡津小学校 緑園西小学校 上矢部小学校	主体的に自分の思いを表現していく子ども 主体的な表現力を育成するための合同授業研究会の推進 及び 体験活動を通じた児童生徒交流の推進 各教科の学習の充実 人権教育 小中一貫教育

中期取組目標	(1) 子ども一人ひとりが安心して、自分らしさを発揮し、互いを認め合う学校をつくります。
	(2) 子どもの主体性を引き出し、自分で学習や生活をつくり高めていく子を育てます。 (3) 教職員の指導力を高め、チームとして子どもたちを育てます。 (4) 学校運営協議会を基盤として、学校・保護者・地域が連携し、信頼関係に基づいた開かれた学校をつくります。

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知 担当 B部会	①個々の思いを大切に、ゴールを明確にした学習課題の設定、学習プロセスを意識した学習を通して課題解決力、読解力(情報活用能力、言語能力)を高める。(状況を考えて単元構成の工夫を図る)②ICTの有効な活用や言語活動を工夫した協働的な学習を創造する。④子どもの思いをもとに各教科(外国語を含む)の横断的な学習(含「横浜の時間」)を創造する。⑤どの学力層にも応じた指導の手立てを講じていく。
豊かな心 担当 A部会	①「なかよし活動」を核とした異学年交流や委員会活動等(状況によって活動の在り方を工夫する)、子ども主体の生活づくりを進める。②年間を通して「けがOプロジェクト」を推進し、互いの思いを尊重する態度を育成する。③地域や社会と関わる機会を増やし体験を通して多様な人々への共感を育む。(状況に応じて活動の在り方を工夫する)③子どもたちの課題に即し、行事や各教科とも連携した道徳授業に取り組む。
健やかな体 担当 体育部	①「生活目標」を活用して児童自身の意識向上に努めたり、問題意識を生かして児童会や各委員会主催の「健やかな体づくり」に取り組んだりする。②学校生活全般を通して「食育」や「衛生」への意識を高める。③家庭や地域と連携し、学校の取組を自分の生活態度・生活習慣の形成に生かせるようにする。
特別支援教育 担当 A部会	①一人ひとりが自信をもって活動できるように「個に応じた支援」体制を強化し、どの子にとってもわかりやすい学習、互いに尊重し合える学校づくりをさらにめざしていく。②子どもたちの居場所を確保するためにチームで個への支援に当たり、特別支援教室の充実した運用をめざす。③きめ細かく個の状況を捉え、保護者の理解を促し、専門機関やカウンセラーとの綿密な連携を図る。④個別支援学級に対する理解を促し、活躍の場を増やす。
社会に開かれた教育課程 担当 各学年	①教科等学習との関連を図り、地域との連携による単元開発を進める。②「ガッツ緑園」(地域でもがんばる)というスローガンを意識化し、子どもたちが自覚をもって地域と積極的にかかわるよう「地域参画力」を高める。③専門機関や企業等と連携し、社会とのつながりや本物との出会いを大切に、職業に対する興味をもち将来に向けての視野を広げるようにする。(①から③については状況に応じて行う)④SDGsに対する理解を進める。
カリキュラム・マネジメント 担当 B部会、教務部	①新学習指導要領のもとでのカリキュラムマネジメント(学校図書館、外国語、ICTとの有機的な融合)に取り組む。②学状調査等のエビデンスをもとに具体的手立てを講じる。③児童によるPDCAサイクル(KWL)を強化する。④学年やブロック、メンターチーム等で主体的、協働的に授業改善(PDCA)に取り組む。⑤緑園義務教育学校に向けたカリキュラムマネジメントに取り組む。
地域連携と学校運営協議会 担当 教務部	①学校運営協議会を軸として緑園西小とともに「めざす子ども像」を共有し、義務教育学校開設に向けての学校づくりを行う。②キッズクラブとのさらなる連携を図り、地域や緑園西小の子どもたちとのかかわりを増やす。③緑園活性化委員会等、地域の組織と連携して子どもたちの地域参画体制を整えていく。(PTAも含めて)(状況に応じて)
研修・研究 担当 メンター部・全員	①毎時間の授業改善という共通理解のもと、基礎・基本の向上を図り、日常的に授業を見合い、アドバイスし合うようにする。②「卒業研究」「緑園名瀬選挙」等、最高学年の取組を参観し、全員で「めざす姿」を共有する。③内容や方法を工夫しながらチームとして協働して楽しく研鑽を積んでいく体制づくりを行う。④西小との合同研修の場を設定する。
人材育成・組織運営(働き方改革) 担当 教務部他全員	①「高学年学年協力指導体制」でチームマネジャー(低・中学年では、ブロック協力体制)を中心に役割を明確にし、創造的・効率的な学年運営を図る。②研究会参加等(状況に応じて)、積極的に授業改善に取り組む。③校内OJTを進める。(個々が自分の役割において質の向上と効率化を目指した工夫を図る。)④チームで対応という自覚をもって学年内・ブロック・級外と連携を図る。
いじめへの対応 担当 A部会	①「いじめ防止基本方針」に則り、意識を高めて未然防止に取り組む。②「いじめ防止委員会」を月1回開催して、全校児童の実態をきめ細かくつかみ、情報共有する場を設け、未然防止や個々の状況に応じるように務める。③アンケート、ypシート等を効果的に活用し実態把握に努める。④「けがOプロジェクト」のもと、学校保健委員会を中心に「相手の気持ちを尊重する」取組を継続する。⑤日常的に一人ひとりのよさを認め、自尊感情を高めるようにする。⑥情報を共有し、保護者・児童がだれにでも相談できる体制づくりをする。